

日本料理の奥深さ学ぶ



上田千曲高食物栄養科3年生

上田千曲高校(上田市中之条)食物栄養科の3年生38人が25日、県認定の熟練技術者「信州ものづくりマイスター」で日本料理慈善(長野市)のオーナーシェフ丸山大輔さん(44)を講師に招き、日本料理の基本を学んだ。

日本料理の基本「汁三菜」を作ってもらおうと丸山さんがこの日用意した献立は、鶏肉とキノコの炊き込みご飯、カブの含め煮、アジの姿造り、アジのつみれ汁。丸山さんは素材の選び方や調理法の名前の由来にも触れながら「だしを出すには、昆布に切り目を入れるといい」「海水と同じ濃度の塩水で洗うとアジのうろこが取れやすく、鮮度が保たれやすい」と具体的に指導した。

身をおろした後に竹串を刺して姿を整えたアジが刺し身と共に皿に盛り付けられると、生徒たちは「すごい、生きているみたい」と感動した様子。中村総一郎さん(18)は「姿造りで盛り付けるのは初めて。手先で身と骨の感覚をつかむのが難しい」。宮川麗菜さん(18)は「盛り付け方や素材の生かし方に日本料理の素晴らしさを感じた」と話していた。

立科小のポプラについて話し合う住民と町幹部



住民「その

丸山さん(右)からアジの姿造りの盛り付け方を教わる生徒たち

町道拡張予定地の立科小学校校庭に植わるポプラ17月



昨年夏に全ての伐採を予定。卒業生側が「記念樹なのに伐採するのは寂しい」「卒業生への連絡が不十分だった」などと反対。工事は中断している。

中腹まで白く染まり、夕日に照らされる浅間山。25日午後4時54分、御代田町塩野

佐久とエストニアのサク市 結ぶ音色



アコーディオン奏者 市役所で無料演奏会

北欧エストニアのアコーディオン奏者や市役所見学をしていた小学生ら約1トウリキ・バートシクさん(41)が25日、佐久市を初めて訪れ、市役所庁舎で無料の演奏会を開いた。市とエストニアのサク市が子ども同士の交流事業に取り組みことを知り、開催を申し出た。来庁たオリジナル曲3曲を披露した。

「曲作りに自然との調和を大切にしている」と紹介したバートシクさん。祖母と過ごした思い出の場所で、南エストニアの町「ローグ」の自然を表現した明るい曲調のワルツなどを奏でた。演奏が終わると、観客たちは大きな拍手を送っていた。

同市望月小学校3年の須山初音さん(8)は「(アコーディオンの演奏を)初めて聞いた。音に波があつてきれいだった」。バートシクさんは「自然豊かな佐久で演奏できたのは、旅の最後にとっても印象的だった」と充実した表情だった。

バートシクさん(左)の演奏に耳を傾ける来庁者

東信のものづくり発信

上田小県4市町村と佐久市、小諸市、立科町、坂城町の企業が技術や製品を発信する上田地

開幕

知り、地元で働くことに目を向けてほしい」とする。

26日は事業者向けの「ビジネスマッチングデー」で、一般公開は27、28日。両日設ける「匠が実演」のコーナーでは、農業者や役割を解説。見学者は、19800〜

！は、19800〜

発達障害への理解を深めて

佐久で来月 当事者と参加者で考える

山極博士 教授 上田 28日 経済生活

上田市民ら有「山極勝三郎博士」28日、世界で初の発生に成功した医学者、山極勝三郎(1863〜1938)で愛知東邦大経産学教授の山極勝三郎(長野県男女会委員を務める)の講演会を上田